

ワーク・ライフ・バランス

保育所のお迎え



女性相談

tel.0797-38-2022 (予約電話)

「こんなことで…」と思わずに、まず、お電話を！相談は無料で、秘密は固く守られます。1回50分間の相談時間を確保し、専門の女性相談員がゆっくりとお話をうかがいます。相談は事前予約が必要です。上記の番号へお電話をください。  
※無料の一時保育あり (予約制)

面接相談	曜日	時間
女性の悩み相談	第1土曜日	①13:00
	第1・3水曜日	②14:00
	第2~5金曜日	③15:00
暴力(DV)に関する相談	第1・3水曜日	各50分
	第2・4金曜日	

平成24年度芦屋市男女共同参画センター講座

知っておきたいネット社会の光と影

子どもから高齢者までネット社会から身を守るために、スマートフォンやソーシャルメディアとのつきあい方を一緒に考えてみませんか

- 講師：岡田朋之氏 関西大学総合情報学部教授
- 日時：12月4日(火) 午前10時~12時
- 対象：テーマに関心のあるかた 25人(先着順)
- 受講料：300円
- 一時保育：要予約 2歳以上就学前の幼児(先着8人) 1人300円

平成24年度芦屋市男女共同参画センター市民企画講座

パパ☆ママ えほんよんで PART3

- 日時：12月8日(土)午前10時~11時30分
- 対象：0歳児から就学前までの親子15組(プレママ、プレパパもどうぞ)
- 参加料：無料
- 企画・運営：NPO法人「絵本で子育て」センター絵がお

今日からイクメン~お父さん・お母さん・家族と一緒に自然物を使って遊ぼう~

自然の表情を再発見！(葉っぱ、石など、自然のものから形や模様を写しとります)

- 日時：12月16日(日) 午前10時~11時
- 対象：3歳児から小学生低学年までの親子15組(先着順)
- 参加料：無料
- 一時保育：要予約 2歳以上3歳未満の幼児(先着8人) 1人300円
- 企画・運営：ちきゅうっ子応援隊

- ◆会場：芦屋市男女共同参画センター ウィザスあしや
- ◆申込み：講座名「ネット社会」、「パパよんで」、「今日からイクメン」、住所、氏名、子どもの名前(年齢)電話(FAXも)番号、一時保育希望のかたは子どもの名前、年齢(月齢も)を記入のうえ、電話・はがき・FAX、Eメールまたは芦屋市男女共同参画センター窓口まで、お申込みください。

センター展示あんない

平成25年  
1月

東川多喜子絵画展

1月7日(月)~30日(水)

(土日祝日をのぞく)

- 【会場】 芦屋市男女共同参画センター ウィザスあしや
- 【時間】 午前9時~午後5時30分

編集後記

サチコ、サチッコの活動について初めて知りました。一人で悩んで電話をかけてきた人の心を思うと胸が締め付けられます。自分本位な加害者に怒りがこみ上げます。この活動が広く知られて、どうか社会で、自分や自分の家族のこととして性暴力について考える機会が増えることを願います。(上田)

ウィザス No.72

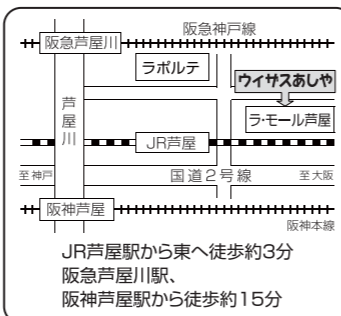
平成24年12月発行

編集・発行 芦屋市男女共同参画センター ウィザスあしや

〒659-0092 芦屋市大原町2-6 ラ・モール芦屋2階  
tel 0797-38-2023 fax 0797-38-2175  
E-mail josei-ce@city.ashiya.hyogo.jp

■開館日・時間：平日(月~金)、第1土曜日 午前9時~午後5時30分  
■休館日：土曜日(第1をのぞく)、日曜日、祝日、振替休日、年末年始

URL <http://www.city.ashiya.lg.jp/sankaku/withus/centerwithus.html>



JR芦屋駅から東へ徒歩約3分  
阪急芦屋川駅、  
阪神芦屋駅から徒歩約15分

ウィザス

「ウィザス」はウィズ・アス=with us  
"共に生きる—男女共生社会"  
の理念をあらわしています。

特集

性暴力から子どもをまもる

女性ニュース ●●● DBJ女性起業大賞に加藤百合子氏

日本政策投資銀行(DBJ)は、平成24年6月、「女性新ビジネスプランコンペティション」を実施し、第1回最優秀賞の女性起業大賞には(株)エムスクエア・ラボ(静岡県菊川市)代表取締役の加藤百合子氏が受賞と発表しました。  
このコンペは、受賞者に最大1千万円の事業奨励金と事業化支援を提供するもので、創業3年以内または起業予定等の女性起業家が対象。今回、643人の応募の中から、「大賞」「優秀賞」「震災復興賞」等の受賞者が表彰されました。  
加藤氏の提案する農業生産者と小売・加工業者をつなぐ農業流通システムの革新性や事業性が高い評価を受け、大賞受賞につながりました。農産物の生産過剰

や天候不順による品不足などの取引リスクを低減するために、生産者と購買者の間に入り、両者の調整役となる新しい農業運営管理の支援事業を展開しようというものです。  
また、女性起業優秀賞には、起業家向けの共同オフィス等のビジネス拠点を提起した(株)ソアラサーピス(広島市)代表取締役の牛来千鶴氏、女性起業震災復興賞には気仙沼発の地域資源を生かした新フアッションブランドを創設した(有)オйкаワデニムの代表取締役の及川秀子氏が受賞しました。  
次々と挑戦する女性起業家の層の厚さに今後積極的な支援を期待したいものです。



# 性暴力から子どもを守る



性暴力被害、それはある日ある時、突然に起こるかもしれません。あなたやあなたの身近にいる人に。そんな時、どうすればいいのか、どうサポートすればいいのか、性暴力救援センター・大阪（略称SACHICOサチコ）24時間ホットライン運営委員の原田薫さんにお話をうかがいました。

## 「性暴力被害直後の総合的支援」をめざして日本で最初の性暴力救援センターが大阪で開設されました

女性のからだは女性自身が知っておくことが大事だと気づきから、ウィメンズセンター大阪で「女・からだ110番」の電話相談や、夏休み期間限定で女の子のための思春期相談を行ってきた中で、性暴力被害者の相談にはワンストップセンターが必要と痛感し、2010年4月に性暴力救援センター・大阪を阪南中央病院内に開設するとともに、女性の安全と医療支援ネットを構築しました。

## 被害を受けたかたの不安を受け止めるために、最初、どのような対応をとられるのですか？

もし性暴力被害にあったら、性暴力救援センター・大阪のホットラインに電話をください。支援員と産婦人科医師（すべて女性）が、24時間対応します。緊急性のある状態のときは、性暴力救援センター・大阪へ来ていただいて、安全で、安心できる環境のもとで、一緒にからだと心のケアについて考えていきます。カウンセリングなど長期のケアが必要な場合、ウィメンズセンター大阪でケアを継続しています。いずれの場合もご本人が自分で選択されることを大切にサポートしていきます。

## 性暴力救援センター・大阪開設2年が過ぎました

2年間の電話相談件数は4,853件、来所件数は延べ1,002件になります。性暴力救援センター・大阪という性暴力とは、法律の狭い定義とは異なり、「同意のない・対等でない・強要された性行為はすべて性暴力」と考え、被害直後の総合的支援を行っています。性暴力にあってもまもない（7日以内）女性へのケア、緊急避妊薬・性感染症治療薬等の処方、法医学的証拠の採取・保存、女性の安全と医療支援ネット

連携している機関（弁護士・カウンセラー等）の情報を提供します。過去の被害に悩んでいるかたには、カウンセリング等を紹介できます。

## 2012年7月には、SACHI子どもセンター「サチッコ」もスタート。大阪府内の小中学校、高校にちらしやカードが配られました

性暴力救援センター・大阪へ来所した初診の年齢をみると、7割近くが20歳未満で特に10歳代の被害が目立ちます。「サチッコ」の立ち上げのきっかけは、「サチコ」へ相談にきたハイティーンの子どもの声でした。もっと早い段階できてほしかったと思われる子どもたちでも、まだそれほどではないと感じて、「ちょっと気持ちが悪い、言う失礼かな」と迷ったりしてグレーゾーンのところでは、すぐ性暴力救援センター・大阪へ相談とはなりにくいことがわかりました。性暴力を早期の予防の段階で、もっと気軽に応えていくのが20歳未満の相談電話「サチッコ」です。深刻化する前の発見のため、「サチッコ」が機能したらいいと考えています。

もっと早い段階できてほしかったと思われる子どもたちでも、まだそれほどではないと感じて、「ちょっと気持ちが悪い、言う失礼かな」と迷ったりしてグレーゾーンのところでは、すぐ性暴力救援センター・大阪へ相談とはなりにくいことがわかりました。性暴力を早期の予防の段階で、もっと気軽に応えていくのが20歳未満の相談電話「サチッコ」です。深刻化する前の発見のため、「サチッコ」が機能したらいいと考えています。

## 被害者や被害者のまわりにいるかたへ伝えていきたいことは

子どもたちにも、大人にも、困ったこと、イヤなこと、どうしていいかわからないことがあったら、相談できる場所が必ずあると伝えていきたいです。「サチッコ」のちらしに入れていますが、性暴力は知っている人からであっても、知らない人からであっても起こ

りえます。まちがった思い込みで子どもたちが被害に巻き込まれないよう、周囲の大人で見守っていきたいと思います。「あなたのからだは、あなたのもの あなたのところは、あなたのもの」というメッセージにこめられているのですが、性の問題は、自分が嫌だと感じる感性をも大切にしていくことで、生きる力を育てていくのではないかと思います。

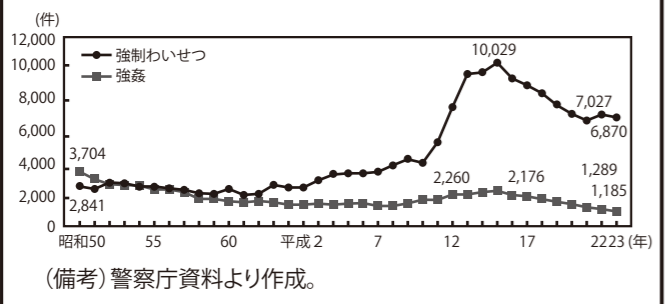
性暴力救援センター・大阪  
**SACHICO** サチコ  
 ◆24時間ホットライン◆  
**☎072-330-0799**  
 .....  
 サチッコ ☎06-6632-0699  
 水曜日～日曜日 14:00～20:00

## インタビューを終えて

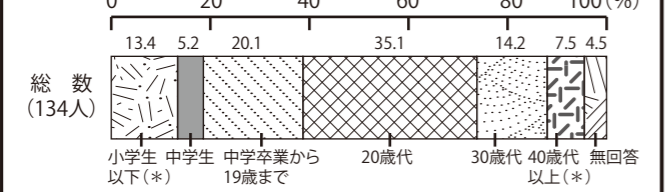
性暴力は身近にあってはならないことですが、残念なことに皆無ではないのが現状です。それならば、もし不幸にも自分や身近な人があってしまったら、どうすればいいのでしょうか。大阪には「性暴力救援センター・大阪」（略称SACHICOサチコ）があります。このホットラインに電話をすると、24時間女性の支援員や産婦人科医師が対応してくれます。また20歳未満の子どもたち対象の、「サチッコ」（SACHI子どもセンター）も2012年7月にスタートしました。性暴力がどのようなものか、よく理解できない年齢の子どもにも、ジロジロと身体を見られる・身体を触られる・聞きたくないのに、いやらしい言葉をあびせられる・裸の写真を見せられるなど、つい自分が我慢すれば…と考えてしまいがちなことも、すべて「性暴力」だと説明し、「あなたのからだは、あなたのもの。あなたのところは、あなたのもの」と自分の心と身体を大切に、安全な環境で、安心して生きる権利があると教えます。

大人・子ども、男性・女性関係なく、だれもが気持ちよく自分の心も身体ものびのびとさせることができ、守られ、安全に暮らせる社会こそが成熟した社会です。このような社会が実現するにはどうすればよいか、一人一人が考えていきたいですね。

## 強姦、強制わいせつ認知件数の推移

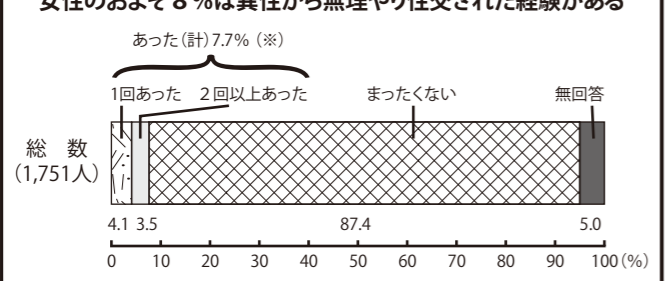


## 被害にあった時期

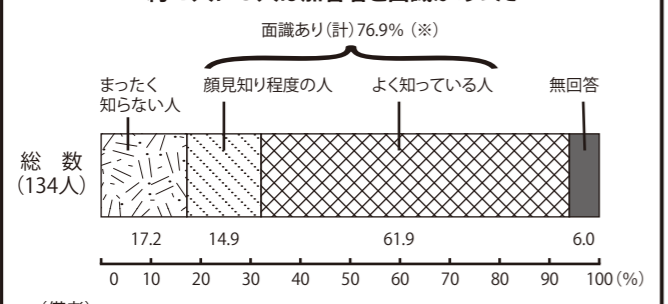


(備考) 内閣府「男女間における暴力に関する調査」(平成23年)より作成。  
 \*上記の図では、下記のように一部の選択肢を合算して表記している。  
 小学生以下:「小学入学前」「小学生のとき」の合算  
 40歳代以上:「40歳代」「50歳代以上」の合算  
 資料:内閣府「平成24年版男女共同参画白書」

## 異性から無理やり性交された経験 (女性のみ)



## 加害者との面識の有無



(備考) ※百分比は小数第一位表示のため計と一致しない  
 資料:内閣府「男女間における暴力に関する調査報告平成24年4月」